

GPS MAP 76CSx

地磁気センサー・気圧センサー搭載型 GPS

クイック・リファレンス・ガイド



目次

各種キーボタンの操作について	3
電池	4
最初に	4
サテライトページの特徴	5
マップページの特徴	6
地図の設定	8
コンパスページの特徴	10
ハイウェイページの特徴	12
ルート ナビゲーション	13
気圧計・高度計ページの特徴	14
FIND 機能	15
トリップコンピューター	16
メインメニュー	17
セットアップ	19
マイクロ SD カードの取り扱いについて	25
ナビゲーション情報の一覧(ソフトバージョン 2.70)	26
PC 間の USB 接続	29
アフターサービス	31

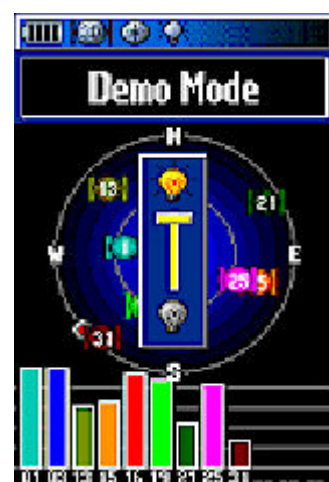
IN: ズームインキーは地図画面で、表示を拡大する為に使います。

OUT: ズームアウトキーは地図画面で、表示を縮小する為に使います。

MOB/FIND: FIND キーは登録されているウェイポイントを検索し、ナビゲーションの目的地に設定する為に使います。MOB/FIND キーを2秒以上押続けると、GPSMAP76CSxは現在位置を登録すると同時に登録したポイントに向けてナビゲーションを開始します。MOBポイント (Man Overboard) というのは人間が落水したポイントのことです。落水位置を簡単に登録して同時にそのポイントまで戻れるようにナビゲーションを瞬時に開始するための機能です。

PAGE: PAGE キーは5種類の主要な画面を順次切り替えて表示させるためのキーです。2秒以上押し続けると電子コンパスをON/OFFすることが出来ます。コンパスはコンパス画面で表示されます。

POWER: 電源のON/OFFを行います。電源を入れる場合、画面が表示されるまで押し続けて下さい。電源ボタンを軽く押して放すと、バック照明の点灯を行うためのスライダーが表示されます。再度押すとバック照明の輝度が最高になります。再度押すと消灯します。ロッカーキーを上下方向に動かし、輝度の微調整を行うことができます。



MENU: メニューキーを押すと現在表示されている画面に対する各種の設定を行うためのメニューが表示されます。MAP76CSxの全般的な設定を行うメインメニューを表示するためにはMENUキーを2度押して下さい。

QUIT: クイットキーは5種類の主要な画面をページキーとは逆の順序で切り替えて表示させます。また現在行っている作業を中断する為にも使います。

ENTER: メニューより選択した項目を入力する為に使います。また2秒以上押し続けると現在位置を登録するウェイポイント登録画面が表示されます。

ROCKER: ロッカーキーは上下左右に動かすことが出来、メニューで表示される項目の選択を行います。地図画面でロッカーキーを動かすことにより画面にマップポインターが表示され画面のスクロールが可能になります。



乾電池は単三型アルカリ電池または、ニッケル水素、リチウム電池 2 本をご使用いただけます。本体背面の D リングを反時計回り方向に 4 5 度回転させ引き上げバッテリーケースに電池の極性を確認のうえ電池を挿入願います。同じ要領でバッテリー蓋を閉めて下さい。

最初に

MAP76CSx の電源を入れてしばらくすると、衛星の受信状態を表示するサテライトページが表示されます。

衛星が巧く受信出来ない場合 Poor Satellite Reception という警告が表示されます。同時に下記選択メニューが表示されます。



Start Simulator: GPSの機能を停止してシュミレーションモードにする。

New Location: 新しい場所に移動した場合、現在位置を入力する。

Stored w/o Batteries: 長時間バッテリーを外して保存していた場合。

Continue Acquiring: 衛星の捕捉を継続する。

上記の何れかを選択願います。

初期化には 5 分 ~ 1 5 分程度かかる場合がありますが、一度初期化を行うと長距離を MAP76CSx の電源を入れずに移動しない限り次回の電源投入時は 1 分以内で衛星を捕捉します。

測位後も正しい日付けが表示されない場合、QUIT キーと MENU キーを押しながらさらに電源キーも押し、これら 3 つのキーを 3 秒以上押し続け MAP76CSx の画面が現れましたら各キーを押すのをやめ再度測位願います。

< リセット時のご注意 >

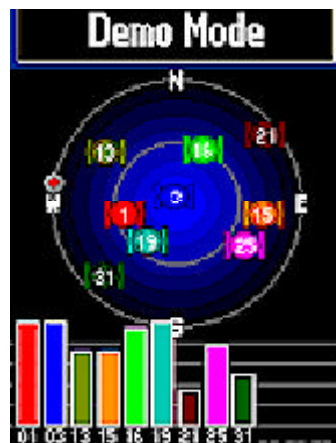
電源が投入されていない状態で、PAGE キーと ENTER キーを押しながら電源を入れると、Do you really want to erase all user data?(ユーザーデータを全て削除したいですか?)の小窓が現れます。ここで Yes(はい)を選択するとマスター・リセットがなされます。

マスター・リセットを行うと各設定項目が工場出荷状態の初期値に戻りますので、時間や単位等の各種設定を改めて行わなければなりません。

また、ご自身で登録されましたウェイポイントや移動軌跡ログ等も全て削除されま

- 受信状態の表示。
- 衛星の位置、各衛星の信号強度の表示。

オプションメニュー： サテライトページでMENU キーを一度押すと下記選択メニューが表示されます。 ロッカーキーを使用して必要な項目を選択してENTER キーで入力の確認を行います。

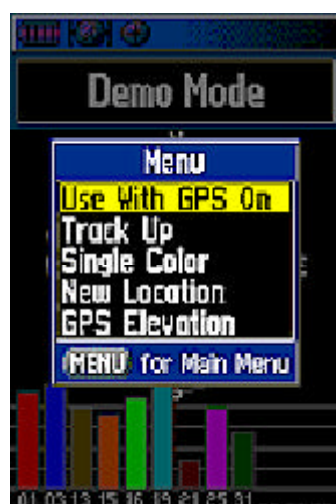


Use with GPS On<>Use GPS Off：

GPS 機能を停止してMAP76CSx を屋内で使う場合GPS Off を選択下さい。GPS 機能を開始する場合GPS On を選択願います。

North Up<>Track Up：

画面上部を北に設定する場合North Up、進行方向を画面上部に設定する場合はTrack Up を選択願います。



Single Color<>Multi Color：

単色のカラー表示の場合はSingle、多色カラーの場合はMulti を選択願います。

New Location：

最後にMAP76CSx を使用してから数100キロ以上電源を入れること無く移動した場合New Location を選択してENTER キーを押すとさらにAuto, Map の選択画面が現れるのでAutoを選びENTER キーを押すと初期化が始まります。Map を選択すると地図画面が現れるのでロッカーキーでポインターを移動させ、おおよその現在地を指しENTER キーを押すと初期化が始まります。

GPS Elevation：

気圧高度計による高度ではなくGPSの3D測位による高度を表示させる場合GPS Elevation を選択後、ENTER キーを押して下さい。

- 内蔵地図の表示。
- 現在の地図が表示されている縮尺スケールの表示。
- 最多 9 種類のナビゲーション情報を自由に組み合わせて表示。
- 現在位置から任意のポイントまでの距離を計測。
- マップポインターによる画面のスクロール。
- 地図の設定。



オプションメニュー： マップページで MENU キーを一度押すと下記選択メニューが表示されます。 ロッカーキーを使用して必要な項目を選択して ENTER キーで入力の確認を行います。

Stop Navigation:

ナビゲーションを停止します。ナビゲーションが行われていない場合選択出来ません。

Recalculation:

経路の再計算を行います。ナビゲーションが行われていない場合選択できません。



Data Fields:

ナビ情報表示枠の行数及び表示サイズの選択を行うことができます。地図画面にナビ情報を表示させるか、地図だけを表示させるかの選択が可能です。Map Onlyを選択すると地図のみが表示されます。Data Fieldを選択すると地図に加えナビ情報の窓枠が表示されます。

Change Data Fields:

ナビ情報の内容を自由に組み合わせで表示させることができます。この項目を選択するとナビ情報のタイトル部分がハイライト表示になります。ロッカーキーで各表示枠へ移動し、表示内容を変えたいタイトルをハイライトさせ ENTER キーを押すと表示可能なナビ情報の一覧リストが表示されますので、ロッカーキーで必要な項目を選択した後に ENTER キーを押して入力の確認を行います。

Guidance Text:

文字によるナビゲーションガイドを表示させるかどうかの設定です。

Always Show: 常に表示させる

Never Show: 表示させない

Show When Navigating: ナビゲーション時に表示させる

地図表示に関する全般的な設定を行います。

Measure Distance<>Stop Measuring

2点間の距離をマップポインター表示枠に表示させることができます。Measure Distance（距離測定）を選択した後に始点となるポイントを地図上に表示される矢印（マップポインター）で指した後 ENTER キーを押します。次に距離を測る終点のポイントをマップポインターで指すと始点からの距離及び方位角（ベアリング）が表示されます。

Declutter On:

On 状態で、道路名、都市名などズームアウト時に邪魔になる名称、記号などを表示させません。Off 状態で全て表示させます。

Rstore Defaults:

工場出荷時の設定に戻します。

< 全般的な設定 >

*Orientation： 地図の方向を設定します。

North Up： 画面上部を北側とする。

Track Up： 進行方向を画面上部とする。

*Below：

設定された地図スケール以下はTrack Up で表示します。

それ以上のスケールではNorth Up 表示に変更します。

*Auto Zoo： オートズームの設定。

On： 目的地に近づくにつれて自動で画面に縮尺を拡大する。

Off： オートズームを行わない。

*Detail： 地図上に表示される内容の詳細度の設定を行います。

Most： より多く

More： 多く

Normal： 標準

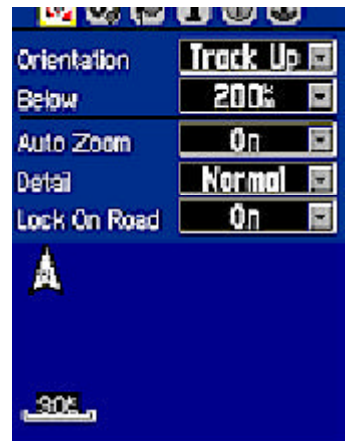
Less： 少なく

Least： より少なく

*Lock On Road： 位置表示アイコン常に道の上に表示させるかどうかの設定です。

On： 常に道の上に表示させる。

Off： 道路の有無に関係なく現在位置を表示させる。

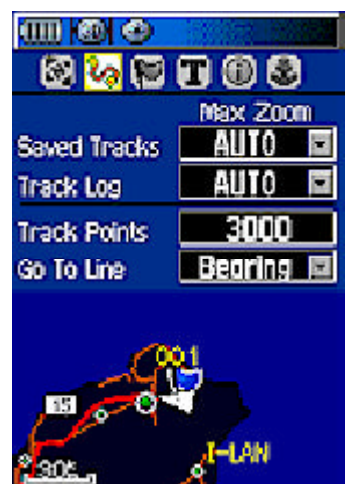


< トラック > 移動軌跡の表示方法の設定を行います。

*Saved Tracks： 保存された軌跡の表示方法の設定です。

Auto： 保存された軌跡の全体が表示される地図スケール以下の縮尺が選択されると、軌跡の表示が行われます。

数値で任意のスケールを選択すると、設定されたスケール以下の縮尺が選択された時に軌跡が表示されます。



Auto: 軌跡の全体が表示される地図スケール以下の縮尺が選択されると、軌跡の表示が行われます。数値で任意のスケールを選択すると、設定されたスケール以下の縮尺が選択された時に軌跡が表示されます。

*Track Point: 表示されるアクティブ・ログの長さをポイント数で設定します。
表示枠にカーソルを移動し ENTER ボタンを押すと編集用の数字欄が表示されます。
ロッカーボタンで必要な数字を選択して編集完了後、OK を選択して ENTER ボタンを押します。

*Go To Line: ナビゲーションの目的地の方向を示す線の表示方法を設定します。
Bearing: 現在位置から目的地への直線方向に設定します。
Course: ナビゲーションの開始ポイントと目的地を結んだ線に設定します。

< **ポイント** > 地図上のポイント、道路名などの表示方法の設定。

OFF: ポイント名、道路名、地域名等の表示を行わない。
Auto: 自動で行う。
数値: 設定した地図スケールで表示させる。



< **文字** > 地図上の文字の大きさの表示方法の設定。

None: ポイント名、道路名、地域名等の表示を行わない。
Small: 小さい文字で表示
Med: 中程度の文字で表示
Large: 大きい文字で表示



iのアイコンを選択すると転送されている地図データの名称が表示されます。左側のチェックボックス (Show) にチェックマークが表示されていない場合、その地図データは表示されません。カーソルを移動してクリックするとチェックマークが付加され地図画面に表示されます。 錨アイコンで表示されるメニューでは、陸上・海上モードが選択可能で、色の反転を行うことができます。また海図上のアイコンの表示方法の選択を行うことができます。

- 目的地の方向を示す矢印
- 最多 8 種類のナビゲーション情報も自由に組合せて表示

オプションメニュー： ポインターでメニューキーを一度押すと下記選択メニューが表示されます。 ロッカーキーを使用して必要な項目を選択して ENTER キーで入力の確認を行います。

Sight 'N Go：

電子コンパスを利用してハンドベアリングを行うことができます。

Stop Navigation：

ナビゲーションを停止します。ナビゲーションが行われていない場合選択出来ません。

Recalculation：

経路の再計算を行います。ナビゲーションが行われていない場合選択出来ません。

Data Fields：

ナビ情報表示枠の行数及び表示サイズの選択を行うことができます。地図画面にナビ情報を表示させるか、地図だけを表示させるかの選択が可能です。Map Only を選択すると地図のみが表示されます。 Data Field を選択すると、ナビ情報の窓枠も追加表示されます。

Change Data Fields：

ナビ情報の内容を自由に組み合わせで表示させることができます。この項目を選択するとナビ情報のタイトル部分がハイライト表示になります。ロッカーキーで各表示枠へ移動し、表示内容を変えたいタイトルをハイライトさせ ENTER キーを押すと表示可能なナビ情報の一覧リストが表示されますので、ロッカーキーで必要な項目を選択した後に ENTER キーを押して入力の確認を行います。

Calibrate Compass：

内蔵の電子コンパスを校正します。 この項目を選択して、Start がハイライト表示されている時に ENTER キーを押すと校正を開始します。 校正するためには MAP76CSx を水平にしたまま時計方向に 2 回まわします。校正用のバーが表示され校正の進み具合が表示されます。校正が終了すると Calibration Completed Successfully と表示されますので、OK がハイライト表示されていることを確認後 ENTER キーを押します。

Rstore Defaults：

工場出荷時の設定に戻します。

電子コンパスを使用して目視できる場所の方向を登録し、その方向に対するナビゲーションが可能です。Sight 'N Goを選択してENTERキーを押します。

1. LCD上下につけられている2つのサイトマークと画面上のポインターが一直線になっている事を確認します。
2. MAP76CSxを水平に保ちながら目の高さ保持し、LCD面のケースに印されているサイトマーク、目線が一直線になるようにMAP76CSxを水平に動かし目標物に照準を合わせます。この状態でENTERキーを押すと目標物への方位角が登録されます。
3. Set Courseを選択してENTERキーを押します。ポインターが指している方向が先ほどサイトマークを利用して登録した方位角です。矢印は常に登録した方位を指します。
4. 投影ポイント：現在の緯度経度座標、固定した方位角に任意の距離を加えることにより、新たなウェイポイント(投影ポイント)を作ることが可能です。方位を固定した後、Projection Waypointを選択すると投影ポイントの登録画面が表示されます。

現在地の座標、高度、方位角が表示されます。距離の入力窓がハイライト表示されていますのでENTERキーを押し、ロッカーキーを上下に動かし数字の入力を行います桁数を移動する場合にはロッカーキーを左右に動かし、距離の入力後ENTERキーを押します。

新しい投影ポイントの座標は、現在位置から固定された方向へ向かい、入力された距離の先に作られます。Gotoを選択するとナビゲーションの開始です。Mapを選択するとこの座標の位置を地図画面で見ることができます。OKを選択すると新しいポイントが名前付きで登録されます。

必要に応じてポイント名の編集を行い登録願います。

- 進行方向を空から見たハイウェイのように鳥瞰的に表示
- 最多 4 種類のナビゲーション情報を自由に組合せて表示

ハイウェイページの表示は MAIN MENU 画面から Highway を選択して表示させます。



オプションメニュー

Stop Navigation:

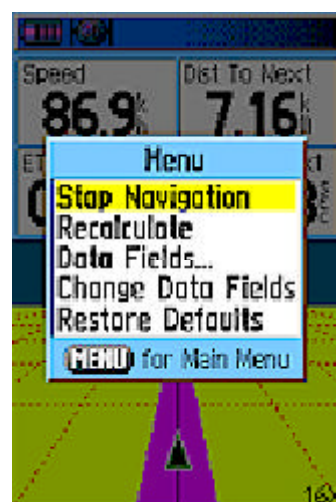
ナビゲーションを停止します。ナビゲーションが行われていない場合選択出来ません。

Recalculation:

経路の再計算を行います。ナビゲーションが行われていない場合選択出来ません。

Data Fields:

ナビ情報表示枠の行数及び表示サイズの選択を行うことができます。



Change Data Fields:

ナビ情報の内容を自由に組み合わせで表示させることができます。この項目を選択するとナビ情報のタイトル部分がハイライト表示になります。ロッカーキーで各表示枠へ移動し、表示内容を変えたいタイトルをハイライトさせ ENTER キーを押すと表示可能なナビ情報の一覧リストが表示されますので、ロッカーキーで必要な項目を選択した後に ENTER キーを押して入力の確認を行います。

Restore Defaults: 工場出荷時の設定に戻します。

MENU キーを2度押し Main Menu を表示させ、Routes を選択して ENTER キーを押すとルートページが表示されます。

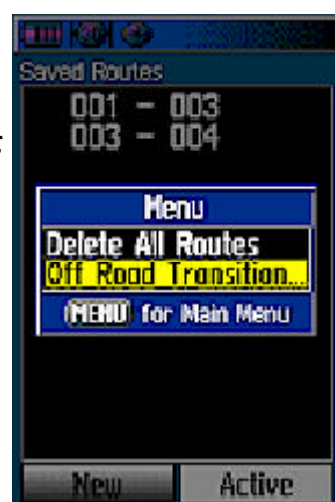
ルートの作成:

New を選択して ENTER キーを押します。Select Next Point を選択後 ENTER キーを押します。ポイントの選択画面から、最初に通過するポイントを選択して ENTER キーを押します。次のポイントも Select Next Point にカーソルを移動してから同様に登録します。これを繰り返しルートを完成させます。



オフロード設定

経路計算のデータが無い場合は必ずオフロード設定を行いポイント間を直線的にナビゲーションして下さい。メインメニューから Routes を選択してルート画面を表示させます。MENU ボタンを押し Off Road Transition を選択して ENTER キーを押します。自動で次のポイントへのナビゲーションに切り替えるタイミングを設定する画面が表示されます。



Manual を選択すると、アクティブルートページで、次のポイントに進む時は OUT ボタンを、前のポイントに戻る時には IN ボタンを押してナビゲーションを行うことができます。

Distance を選択し、ポイントに到達したと見なす範囲を半径で入力しておけば、設定範囲に入ると同時にルート上の次のポイントに向けてナビゲーションが自動的に切り替わります。

Auto を選択すると、MAP76CSx が測位誤差の範囲で、ポイントに到着したと見なした時点で、ルート上の次のポイントに向けてナビゲーションが自動的に切り替わります。

以上の設定を行った後、ルートナビゲーションに使用するルートを選択後、Navigate にカーソルを移動して ENTER キーを押しナビを開始します。進行方向はコンパスページで、相対的な位置は地図ページで確認します。



- 過去最高 4 8 時間の気圧の推移の表示
- 高度の昇降を時間軸あるいは距離軸でグラフ表示
- 高度に関連するナビ情報を 2 種類自由に組合せて表示
- 高度計の校正

MENU キを一度押すとオプションメニューが表示されます。



Plot Over Time< >Plot Over Distance:

高度表示が選択されている場合グラフの縦軸は高度です。横軸に経過時間をとる場合 Plot Over Time を選択します。移動距離を横軸に取る場合は Plot Over Distance を選択します。Zoomキーを押すと距離あるいは時間の表示範囲を変更することが出来ます。

View Pressure Plot<>View Elevation Plot

気圧表示と高度表示の切替です。

Zoom Ranges:

それぞれのプロファイルグラフの縦軸、横軸の範囲設定を行うことが出来ます。

Change Data Field:

表示させるナビゲーション情報の変更を行います。この項目を選択すると、ナビゲーション情報のタイトルの一つがハイライト表示されます。ENTER キーを押すとドロップダウンメニューが表示されますので、表示させる情報をロッカーキーで選択して ENTER キーで選択決定を行います。

Reset:

最高速度、オドメータ情報、軌跡、ルート、登録ポイントなどをリセットします。全てをリセットする場合 Select All を選択、次に Apply を選択後 ENTER キーを押します。

Calibrate Altimeter:

高度計の校正を行います。高度計を校正するには、現在の正確な標高 (Current Elevation) を入力するか、現在地における海拔 0 メートルの気圧 (Current Pressure) を入力します。GPS で測位した高度をもとに校正する方法がありますが、GPS 高度は誤差が 10 ~ 30 メートル程度である可能性がありますので、できるだけ正確な標高をご自身で入力するか、海拔 0 メートルの基準気圧を入力するようにして下さい。

Restore Defaults:

工場出荷時の設定に戻します。

FIND キーを押すと登録済みのポイント、都市名、海事関連ポイント、ジオキャッシュポイント、などを検索し、ナビゲーションの目的地とすることが出来ます。

例えばウェイポイントのカテゴリを選択すると、登録されているポイントが一覧で表示されます。 目的地に設定したいポイントを選択して ENTER キーを押すと、ポイントの詳細画面が表示されます。

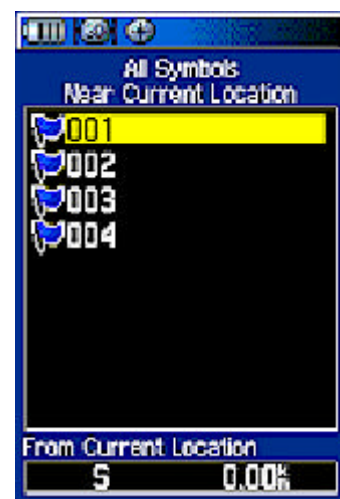
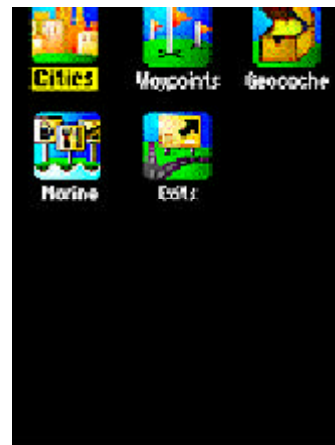
詳細画面の右下の Go To を選択して ENTER キーを押すと同時にナビゲーションが始まります。現在の相対的な位置は地図画面で目的地への直線方位は、PAGE キーを押してコンパス画面を表示させると、矢印で表示されます。 ナビ情報欄には目的地までの距離現在の移動速度、所要時間などを表示させることが出来ます。

注意）直線方位でのナビゲーションを行う為には必ず以下の順序でRoutingの設定をオフロード設定に切り替えてからご利用下さい。

Main Menu

Setup

Routing → Guidance Method → Off Road を選択



8種類、又は大きい文字サイズで4種類のナビ情報を一覧で表示します。ナビ情報は自由に組合せ表示することが可能です。

Reset:

最高速度、オドメータ情報、軌跡、ルート、登録ポイントなどをリセットします。全てをリセットする際には Select All を選択、次に Apply を選択後 ENTER キーを押します。

Big Numbers<>Small Numbers:

文字サイズの切替を行います。

Change Data Fields:

ナビ情報の内容を自由に組み合わせで表示させることができます。この項目を選択するとナビ情報のタイトル部分がハイライト表示になります。ロッカーキーで各表示枠へ移動し、表示内容を変えたいタイトルをハイライトさせ ENTER キーを押すと表示可能なナビ情報の一覧リストが表示されますので、ロッカーキーで必要な項目を選択した後に ENTER キーを押して入力の確認を行います。

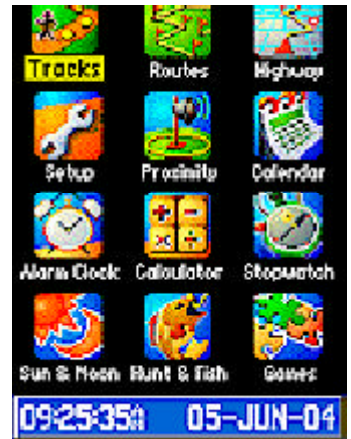
Restore Defaults:

工場出荷時の設定に戻します。



MENU キーを二度押すとメインメニュー画面が表示されます。

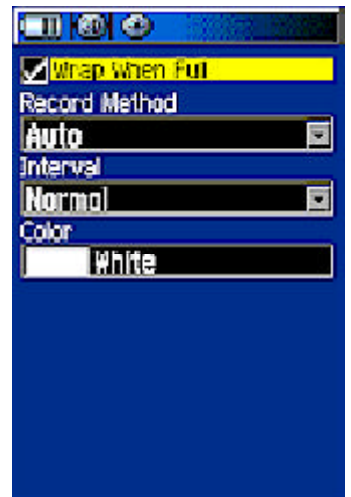
- Tracks: トラック = 軌跡
- Routes: ルート
- Highway: ハイウェイ画面
- Setup: セットアップ
- Proximity: プロキシミティ
- Calendar: カレンダー
- Alarm Clock: アラームクロック
- Calculator: カリキュレーター
- Sun & Moon: サンアンドムーン
- Hunt & Fish Setup: ハントアンドフィッシュ
- Games: **ゲーム**



トラック

- Tracks: 移動軌跡データーを保存したり(Save)、消去したり(Clear)、Track Back という軌跡を辿るナビゲーションが可能です。 移動軌跡を記録する場合はトラック画面の上部の On にカーソルを移動して ENTER キーを押します。On の前のチェック欄が黒になっていることを確認下さい。 この時 Off のチェック欄は白色です。

さらに Tracks 画面で Setup を選択後 ENTER キーを押すと、ログの記録方法の設定が可能です。Wrap When Full にチェックマークが入っていると、ログが一杯になった時、古いログを消し新しいログを追加します。



Record Method: 記録方法及びその間隔設定

Distance : (移動軌跡を距離基準に記録する)

Time : (移動軌跡を時間基準に記録する)

Auto : (MAP76CSx 独自の方法で自動的に記録する)

Distance は記録の間隔を距離で、Time の場合は時間を Interval の欄に入力します。 Auto の場合、Interval は以下より選択願います。

Most Often: 移動軌跡はかなり頻繁に取る。

More Often: 移動軌跡は頻繁に取る。

Normal: 移動軌跡は普通に取る。

Less Often: 移動軌跡は控えめに。

Least Often: 移動軌跡はかなり控えめに取る。

- Highway: ハイウェイ画面を表示させます。
- Setup: 表示単位、世界標準時との時差、PCとのインターフェイス等の設定を行います。
- Proximity: プロキシミティポイントを登録し、設定された距離（ポイントを中心とした半径で設定）以上ポイントに近づくとアラームが鳴り、ポイントに近づいたことを知らせます。
- Calendar: カレンダーの表示
- Alarm Clock: アラーム時間の設定、アラーム音の選択等を行います。
- Calculator: 電卓が使えます。
- Stopwatch: ストップウォッチが使えます。
- Sun & Moon: 日の出・日の入り、月の満ち欠け等を表示致します。
- Hunt & Fishp: 狩猟、釣りに適した時間帯を表示させます。
- Games: GPS 機能を使ったフィールドゲームが楽しめます。

Main Menu から Setup を選択するとセッアップ画面が表示されます。動作モード、表示単位などの各種設定が可能です。

System (システム)

GPS：通常(Normal)、省エネ(Battery Saver)、GPS Off
デモ (Demo Mode)の各種モードを選択します。

WAAS：2007年9月27日より正式運用(MSAS)。
Enabled：北米でご使用時に Enabled に設定願います。
Disabled：日本でご使用の際は Disabled に設定します。

Battery Type：ご利用いただく電池の種類を登録願います。
Alkaline：アルカリ電池をご利用いただく場合
NiMH：ニッケル水素電池をご利用いただく場合

Text Language：表示言語の切替を行います。

External Power Lost：外部電源からの電源供給が無くなった場合の処置
Turn Off：外部からの電源供給が無くなった場合は MAP76CSx の電源を切る。
Stay On：内部電池がある場合は、そのまま作動を継続する。



Display (ディスプレイ)

LCD 表示、バック照明等の設定です。

Display Mode：自動(Auto)、日中(Daytime)、夜間(Nighttime)の各種モードを選択します。

Daytime Color Scheme：日中表示における各種の表示色調が選択可能です。

Nighttime Color Scheme：夜間表示における各種の表示色調が選択可能です。

Backlight Timeout：バック照明の自動消灯タイマーの設定が可能です。

Backlight Level：バック照明のレベルを微調整することが出来ます。
カーソルをこの項目に移動してから ENTER キーを押します。ロッカーキーを



外部機器との通信のインターフェイスの設定を行います。

USB (GARMIN Data Format): USB 経由で PC その他の外部機器と接続が行われているかどうかを表示します。

Serial Data Format: RS232 シリアルポートの設定です。



GARMIN: ガーミン社独自のフォーマットによりウェイポイント、ルート及びトラック情報をパソコンと MAP76CSx 間で転送が可能です。

GARMIN DGPS: ガーミン社の DGPS 受信機よりのデータ入力及び同調が可能となります。

NMEA In/NMEA Out: NMEA0183 のフォーマットにてデータを出力します。

TEXT Out: ASCII テキストにて日時、位置座標、移動速度データを出力します。

RTCM In: RTCM SC-104 によるデータ入力を可能にします。出力はサポートしません。

RTCM In/NMEA Out: RTCM SC-104 によるデータ入力を可能にすると同時に NMEA0183 バージョン 2.3 のフォーマットにてデータを出力します。

RTCM In/TEXT Out: RTCM SC-104 によるデータ入力を可能にすると同時に ASCII テキストにて日時、位置座標、移動速度データを出力します。

None: **インターフェースを使用しない。**

アラームの種類を機能別に設定します。

Message Beep: メッセージが表示される時のアラーム

Key beep: キーボタンを押した時のアラーム

Power beep: 電源のオン・オフ時のアラーム

Turn Warning (Early): 方向指示のアラーム (初期)

Turn Warning (Final): 方向指示のアラーム (最終)

Mute: チェックボックスを選択後 ENTER ボタンを押すと消音状態になります。

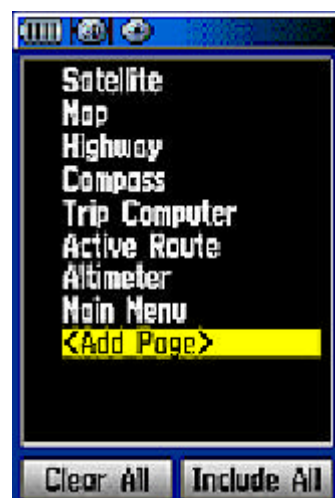


Page sequence (ページ シークエンス)

PAGE キーで切り替わる表示画面の順序を設定します。

現在登録されているページにカーソルを移動して ENTER キーを押すと Move (移動) Insert (挿入) Remove (削除) が表示されます。移動を選択・実行するとロッカーキーでページの表示順番を変更することが出来ます。

Insert 又は <Add Page> を選択・実行すると、追加出来るページタイトルがドロップダウンメニューで表示されますので、選択・実行します。



Clear All は登録されているページタイトルを全て削除します。

Include All を実行すると全てのページタイトルが登録されます。

Map (マップ)

地図画面の設定を行います。詳細は 8 ページを参照願います。

ナビゲーション時の進行方向の切り替えのタイミング、ルート計算をする方法の選択、画面に方向指示を表示させるかどうかの設定を行います。



Guidance Method： 方向指示の方法を設定します。

Prompted： Follow Road か Off Road かの選択を毎回ナビゲーションを開始する時に行う。

Follow Road： 経路計算した道どおりに方向の指示を行う。

Off Road： コンパス画面で直線方位での方向指示を行う。

Follow Road Method： ルート計算の方法を設定する。

Prompted： 時間での計算か距離での計算かの選択を毎回ナビゲーションを開始する時に行う。

Faster Time： 時間優先でルート案内を行う。

Shorter Distance： 距離優先でルート案内を行う。

Next Turn Pop-up： 針路変更の案内の表示方法を設定する。

On： 案内を表示させる。

Off： 案内を表示させない。

Follow Road Options を選択・実行すると更に詳細な設定画面が表示されます。

Off Route Recalculation： コースズレを起こした時の設定

Prompted： リルートを行うかどうかを毎回選択する。

Automatic： 自動でリルートを行う。

Off： リルートは行わない。

Calculation Method： 再計算の方法を設定します。

Calculate Routes for： バス、タクシー、歩行者など、移動体の種類の設定を行います。

Uターン、課金道路、高速道路、舗装されていない道など、ルート計算時に避ける道路の種類を設定します。



ハンディ GPSを使ったジオキャッシングというアウトドアゲームの世界的な流行の兆しがあります。インターネット上に公開されているゲームキャッシュの座標を GPS に入力して宝探しを行うゲームで、日本を含め全世界 190ヶ国にゲームキャッシュが隠されています。

MAP76CSxにはジオキャッシュ用のアイコン及びキャッシュを見つけた時にカレンダーに記録する機能がついています。 日本ジオキャッシングサイトの URL は以下の通りです。

<http://www.geocaching.jp/>

Marine (マリン)

各種アラームの設定が可能です。

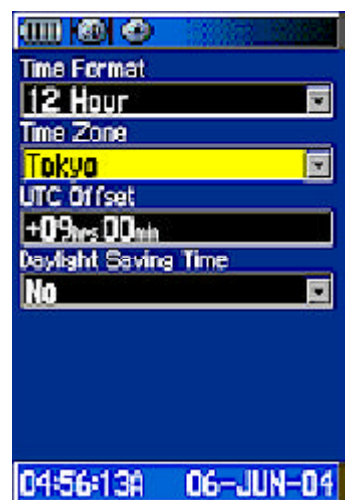
- Anchor Drag Alarm: アンカーアラームの設定
- Off Course Alarm: コースズレに対するアラーム設定
- Deep Water Alarm: 深瀬アラーム *1
- Shallow Water Alarm: 浅瀬アラーム *1
- Speed Filter: 移動速度を平均化するフィルターの設定

*1 これらのアラームは MAP76CSx に NMEA 形式で測深計のデータの投入を行った時に有効です。

Time (タイム)

時間の設定を行います。Time Zoneで現在地を選択するか Other を選択した後 UTC Offset を世界標準時と現在地の時差を入力します。 Daylight Saving Time はサマータイム実施国での設定です。

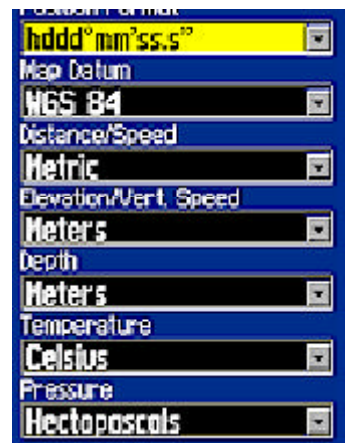
注意) MAP76CSx は測位と同時に GPS 衛星の高精度時計と同期致しますので時計を合わせる機能はございません。測位が行われないまま放置しますと内部クロックは誤差が大きくなりますが、測位と同時に正しい日時を表示いたします。



数値の表示単位などの設定を行います。

Position Format: 座標の表示形式を設定します。

Map Datum: ご使用になられる地図の測地系に合わせて選択願います。世界標準測地系ベースの紙地図等をご使用の場合は、WGS84を選択願います。また、日本測地系ベースの紙地図をご使用の場合はTokyoを選択願います。お手持ちの地図の測地系をご確認後、GPS MAP76CSx のMap Datum 設定をその地図の測地系に合わせ随時設定変更のうえご使用下さい。



Distance/Speed: 距離座標の表示単位を設定します。メートルの場合はMetricです。

Elevation/Vert. Speed: 高度、昇降速度の表示単位を設定します。

Depth: 深度の表示単位を設定します。メートルの場合Metersを選択します。

Temperature: 温度表示単位を設定します。摂氏の場合Celsiusを選択します。

Pressure: 気圧の単位を設定します。ヘクトパスカル(Hectopascals)が一般的です。

Heading (ヘディング)

方位の表示方法等の設定を行います。

Display: 角度の表示単位の設定です。360度表示の場合はDegreeを選択下さい。Cardinal Letter が選択されるとNE (ノースイースト = 北東) N (ノース = 北) など1 ~ 2桁の文字で凡その方向を表示します。

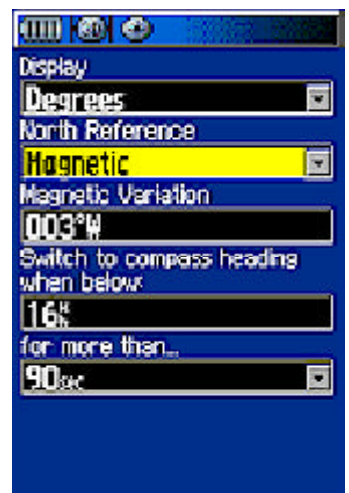
North Reference: 真北(True)、磁北(Magnetic)の北の基準を設定します。

Magnetic Variation: 磁北と真北の偏差を角度で表示します。

GPS と電子コンパスの切替を自動で行うことが可能です。

Switch to compass heading when below: 移動速度が設定値以下のに減速し、下記の時間設定を超えて低速移動が継続される場合、進行方位の表示は電子コンパスにより行われます。

For more than: この項目で設定した時間以上に、上記で設定した速度以下の低速移動が続いた場合、進行方位の表示は電子コンパスにより行われます。



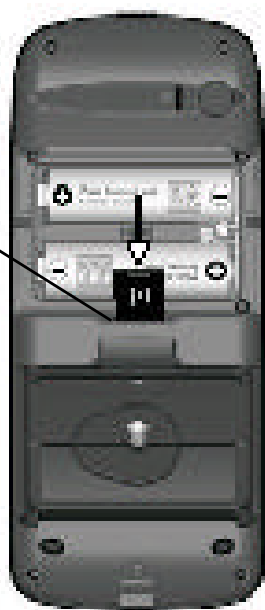
Xシリーズは地図メモリ用として、マイクロSDカード（別売）を使用します。
マイクロSDカードの取り扱い方法を以下に示します。

< マイクロSDカードの取り付け >

- 1．本体背面の電池蓋を取り外します。
- 2．電池ケースの下側にカードスロットが配置されています。
- 3．スロットにマイクロSDカードを差し込んで下さい。
（カードの向きに注意して下さい → ）
- 4．カード取り付け後は、電池蓋を付けます。



カードスロット



< 地図データのマイクロSDカードへの転送方法 >

- 1．本体背面のUSBケーブル接続口の保護カバーを持ち上げます。
- 2．付属のUSBケーブルをGPSとPCのUSBケーブル接続口に差し込みます。
- 3．通信を行う場合はUSBドライバーのインストールが必要となります。(29P 参照)
- 4．PC上のマップソースを使用してデータの送受信を行います。

地図やデータの転送方法につきましては、マップソースのマニュアルをご覧ください。

ACCURACY(**アキュラシー**): 測地精度

AMBIENT PRESSURE:(**アンビエントプレッシャー**): 校正されていない外気圧

ASCENT-AVERAGE(**アセントアベレージ**): 平均上昇距離

ASCENT-MAXIMUM(**アセントマキシマム**): 最高上昇距離

ASSENT-TOTAL(**アセントトータル**): 総上昇距離

BAROMETER(**バロメーター**): 校正後の外気圧

BEARING(**ベアリング**): 現在地から目的地を直線で結んだ方位

COURSE(**コース**): ナビゲーションの始点と目的地を直線で結んだ方位

DEPTH(**デプス**): 深度

DESCENT-AVERAGE(**デイセントアベレージ**): 平均降下距離

DESCENT-TOTAL(**デイセント・トータル**): 総降下距離

DISTANCE-NEXT(**デイセント・ネクスト**): 次のポイントまでの距離

DISTANCE-DESTINATION(**ディスタンス・デスティネーション**): 最終ポイントまでの距離

ETA-NEXT(**ETA・ネクスト**): 次のポイントに到着する予想時刻

ETA-DESTINATION(**ETA・デスティネーション**): 最終ポイントへ到着する予想時刻

ELEVATION(**エレベーション**): 海拔高度

ELEVATION MAXIMUM(**マキシマムエレベーション**): 最高高度

ELEVATION MINIMUM(**ミニマムエレベーション**): 最低高度

GLIDE RATIO(**グライドレシヨ**): 水平移動距離に対する垂直移動距離の比率

GLIDE RATIO DEST: 現在位置から目的地に到達する為に必要な沈下率

HEADING(**ヘディング**): 現在の進行方向

ODOMETER(オドメータ): 全ての距離の積算

OFF COURSE (オフ・コース): コースラインからの左右方向へのずれ(距離)

POINTER(ポインター): 次の目的地を示す矢印

SPEED (スピード): 現在の移動速度

SPEED MAXIMUM(スピードマキシマム): 最高速度

SPEED-MOVING AVG (スピード・ムービング・アベレージ): 移動平均速度

SPEED-OVERALL AVG(スピード・オーバーオールアベレージ): 測位開始後の平均速度

SUNRISE(サンライズ): 現在地の日の出時刻

SUNSET(サンセット): 現在地の日の入り時刻

TIME TO DESTINATION (タイム・オブ・デスティネーション): 最終目的地までの予想所要時間

TIME TO NEXT (タイム・トゥー・ネクスト): 次の目的地までの予想所要時間

TIME OF DAY (タイム・オブ・デイ): 選択されたタイムゾーン(時間帯)での時刻

T0 COURSE(トゥー・コース): コースラインに戻るための方位角

TRIP ODOMETER(トリップオドメータ): リセット後の総積算距離計

TRIP TIME-MOVING(トリップタイム・ムービング): 移動行程における移動した時間

TRIP TIME-STOPPED(トリップタイム・ストップド): 移動行程における停止した時間

TRIP TIME-TOTAL (トリップ・タイム・トータル): 全ての移動行程における移動及び停止した時間の合計

TURN (ターン): 目的地への角度差。 "L" は左に、"R" は右に曲がることを意味する。

VELOCITY MADE GOOD(ベロシティー・メイド・グッド): 目的地に近づいて行く速度

VERTICAL SPEED(パーティカルスピード): 一定時間おける垂直移動の速度

VERT. CREED DEST/IR = 1+1172 1. 37=1 1.4 5.1-1.1. 口插入の弄古致致法座

WATER TEMP(**ウォーター・テンプレチャー**): 水温をNMEAで出力できる外部機器と接続した時

WAYPOINT DESTINATION(**ウェイポイントデステイネーション**): ルート上の最終ポイント

WAYPOINT NEXT(**ウェイポイントネクスト**): ルート上の次のポイント

付属のマップソース、Trip & Waypoint ManagerをPCにインストールする必要があります。
動作環境は以下の通りです。

IBM PC互換、ペンティアムプロセッサ搭載
32MB RAM
CDドライブ
ポインティングデバイス
256色ディスプレイアダプター(24ビットカラー推奨)
解像度640 x 480以上のモニター
32MB以上のHDDフリースペース
Windows98以上のOS

CDをPCのCDドライブに入れて下さい。自動的にインストールプログラムが起動します。
起動しない場合は、ウインドウズのスタートボタンをクリックした後、ファイル名を指定して
実行をクリックします。入力欄にCDドライブのパス及びsetupを入力します。(例 d:¥setup)

インストールが終わるとUSBのドライバーもマップソースソフトとともにインストールされます。
MAP76CSxの電源を入れ、Interface設定をGARMINに設定した後、付属のUSBケーブルでMAP76CSx
とPCを接続します。OSが自動的に新しいデバイスMAP76CSxを認識してドライバーをインストール
します。

W98、MEをご利用の場合は、マップソースCDをドライブに入れた状態で、MAP76CSxをPCに接続願
います。OSの指示にしたがい、USBドライバーがあるCDドライブの場所を指定して、USBドライ
バーのインストールを行って下さい。

接続の確認はMAP76CSxのインターフェイス画面でUSB GARMIN DATA FORMATがConnectedと表示さ
れていればPCと通信可能な状態です。

Trip & Waypoint ManagerはGarmin社のマップソース製品のひとつです。Trip & Waypoint
Managerで地図データの転送を行うことはできませんが、PC上でウェイポイント、ルートを作成し
てGPSに転送したり、GPSで登録したウェイポイント、移動軌跡をPCに転送することができます。

複数のマップソース製品もひとつの画面から切り替えてご利用いただけますので、用途に合わせご
購入をご検討ください。以下のURLからにマップソースのご利用方法を簡単に記述したリファレ
ンスが無償でダウンロード可能です。

http://www.rakuten.ne.jp/gold/ida-online/GPS/gps_download.htm

寸法	68(W) x 157(H) x 36(D) mm
重量	230 グラム (電池を含む)
使用温度範囲	-15 - 70
受信部	D-GPS対応、12衛星並列受信 WAAS対応
衛星捕捉時間	約15秒(ウォームスタート) 約38秒(コールドスタート)
初期化	約5分
更新時間	連続1秒毎
測地精度	15メートル以内RMS *1
データインターフェース	NMEA 0183、RTCM 104(DGPS) RS232C(パソコン)
アンテナ	内蔵
外部アンテナ端子	有り
電池寿命(セーブモード時)	連続18時間 *2

*1 測地精度は頭上の遮断物の有無に左右されます。

*2 低温で使用时はできるだけリチウム電池を御使用願います。 又、バック照明の連続点灯は電池寿命を著しく短くします。

アフターサービス

正常なご使用状態で保証期間中故障した場合は保証書を弊社サービス室にお送り下さい。
保証内容は保証規定に記載した通りです。

GPS MAP76CSx の補修部品の保存期間は製造停止後 5 年です。

修理時代替品を使用させていただく場合もあります。

ご使用状況によっては精度が仕様通りにならない場合があります。

保証規定

1. 本取扱説明書に従ったご使用状態で万一故障した場合、ご購入日より一年間無償で修理致します。
2. 修理の必要が生じた場合、製品に保証書を添えて弊社サービス室に郵送料お客様ご負担でご郵送願います。
3. 保証期間を問わず以下の場合の修理は有償となります。
 - A. 誤用、乱用、取扱の不注意による故障
 - B. 天災、盗難等の災害による故障
 - C. 不当な修理、改造、異常電圧による故障
 - D. 使用中に生じた傷等の外観の変化、変形
 - E. 保証書の提示が無い場合、ご購入日の記載が無い場合
4. 保証書の再発行は致しません。

保証規定の内容により無料で修理及び調整を行なうことをお約束するものです。

保証期間： ご購入日より本体一年間

ご購入日： 平成	年	月	日
----------	---	---	---

お客様名：

ご住所：

電話番号：

電子メールアドレス：

故障内容：